

2024年1月29日
プレスリリース No.022-23

「コーヒー」から地球温暖化にアプローチ

「カスから生まれるプロジェクト」が静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞を受賞

2020年に発足した本学の教員と学生によるプロジェクトチーム「カスから生まれるプロジェクト」が、このたび「令和5年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞」を受賞しました。今回受賞したのは地球温暖化防止普及・啓発部門(学校等の部)で、コーヒー豆を取り出す時に破棄される果皮「カスカラ」を活用した「カスカラティー」の商品開発・販売の取り組みが評価されたものです。

本賞表彰式及び本学での本学学長への受賞報告をおこないますので、報道関係者の皆様にはご取材いただきますよう、お願いいたします。

■「コーヒー」を切り口に、気候変動防止に向けた取り組みを

気候変動の影響を受けて、2050年には現在のコーヒーの産地の収穫量が半減するという試算が出されています。収穫量が半減するということは、生産者にとって収入が半減することを意味しており、「気候危機」のもとにいるコスタリカのコーヒー生産者を支援するプロジェクトを2019年から実施してきました。これまで豆を取り出す過程で廃棄されてきたコーヒーの果肉を使って、静岡県内の企業と共に新商品を開発。これまで開発した商品は、コーヒーチェリーティー、コーヒーチェリークッキー、コーヒーチェリー石鹸などがあります。

【本活動の評価ポイント】

- ① 産地における二酸化炭素削減への貢献: 申請者が扱っている商品の原料は、コスタリカのフェアトレードコーヒー生産者から購入。生産者らはフェアトレードの利益の一部を、植林などの熱帯雨林保全事業に充てている。生産者の生活が維持されることはコスタリカ国における二酸化炭素削減に貢献。
- ② 商品開発・販売を通じた気候変動防止活動への参加機会の提供: 開発した商品は、県内販売中。「買い物」という誰もが参加できる手段を通じて、気候変動防止活動の機会を県民に提供。
- ③ 教育・研究発表・メディアを通じた啓発: シンポジウムや出前授業、メディア出演など県内の各所で啓発活動に積極的に取り組む。これらの活動は、市民(イベント)、学生(高校・大学)、研究者(学会)など、様々な市民が対象。

■取材日程

①表彰式 【日時】 2024年2月2日(金) 13:30~14:00

【会場】 静岡県庁西館4階 第1会議室A

※所管部署: 静岡県くらし・環境部 環境局環境政策課

②学長報告 【日時】 2024年2月2日(金) 15:30~

【会場】 静岡文化芸術大学 3階 会議室

【出席者】 武田淳(国際文化学科准教授、本プロジェクト監修者)、
日比谷憲彦(デザイン学科教授、本プロジェクト監修者)、
プロジェクトメンバーの学生

果皮「カスカラ」

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 企画室 (担当: 松本)

Tel. 053-457-6113(平日 8:30~18:00) / Fax. 053-457-6123

Email. kikaku@suac.ac.jp

公式 Web サイト

